

<b>【大学間協定留学】 留学報告書</b>
------------------------

記入日:2023年7月26日

所属学部/研究科・学科/専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	United Kingdom
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	機関和文名:イーストアングリア大学 機関英文名:University of East Anglia 現地言語:English
留学期間	2022年9月~2023年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	所属学部名:School of Economics <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2023年6月23日
明治大学卒業予定年	2024年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	(記入例/1学期:4月上旬~7月下旬、2学期:9月中旬~2月上旬) 1学期:9月下旬~1月中旬      2学期:1月下旬~6月下旬 3学期:                                      4学期:
学生数	16,832人
創立年	1963年

留学費用項目	現地通貨 (GBP/£)	日本円	備考
授業料	-	0 円	
宿舍費	4941.9	815,413 円	宿舍費の詳細は大学 HP を参照。
食費	1552.46	293,374 円	
図書費	-	0 円	教材はすべてオンライン。参考文献も図書館にあります。
学用品費	-	0 円	
携帯・インターネット費	80	13,425 円	スマホ代。£10/月。
現地交通費	168.3	27,802 円	主に市街地中心部までの交通費 (☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	433.34	73,562 円	
被服費	67.6	11,059 円	
医療費	13.29	2,111 円	
保険費	-	107,415 円	形態:明治大学指定の保険(11 か月分)
渡航旅費	-	126,500 円	詳細は渡航関連を参照。通常の航空券だったら 20~30 万円程度。
ビザ申請費	-	142,119 円	Student Visa:61932 円 HIS(保険):80,187 円(HIS・保険)
雑費	303.13	50,808 円	
その他	380.53	66,274 円	散髪、洗濯ならびに土産代
その他	1519	678,054 円	現地通貨の金額は英国内で決裁したもののみ。日本円は他国決裁したものを含む。
合計	9459.55	2,407,916 円	実際の請求レトをもとに計算。 現地通貨の合計額に日本円で決裁したものは含まない。

### 渡航関連

#### 渡航経路

往路 出発地:東京/羽田 目的地:ロンドン/ヒースロー 経由地:-

復路 出発地:ロンドン/ヒースロー 目的地:東京/羽田 経由地:-

#### 渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:日本航空

料金:126,500 円+50,000 マイル

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: 料金: \_\_\_\_\_

復路 航空会社: 料金: \_\_\_\_\_ ∴ 合計: \_\_\_\_\_

#### 航空券購入方法

- 旅行代理店(店名: \_\_\_\_\_)
- インターネット(サイト名:JAL 公式サイト/マイルを使用)
- その他( \_\_\_\_\_ )

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Oak House/University Village)    アパート    ホームステイ

2)部屋の形態

個室    相部屋(同居人数 )

3)共有部分

バス    トイレ    キッチン(自炊可    自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学の専用フォームから。

出願手続き中に住居の申請もできます。大学が提供している住居については、大学の HP から確認できます。

詳細:<https://www.uea.ac.uk/uea-life/accommodation>

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

生活環境について不満を抱いたことはほとんどありません。

大学の中心と家から徒歩 10 分圏内に小さなスーパーがありますし、20 分程度歩いて ALDI というスーパーに行けば安価に食料や日用品が手に入ります。治安面においても深夜 1 人で図書館から帰宅することはざらですし、特に危険を感じたことはないです。むしろ、日本以上に平和ホケをしまい、旅行するときに怖くなるぐらいです。

目立った観光施設や娯楽施設こそありませんが、生活に困ることはないので、勉強にも取り組みやすい良い環境だと思います。



## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし  
 あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし  
 あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省海外安全ホームページ。  
 そのほかは友人などから聞いていました。特に犯罪等には巻き込まれていません。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内は大学内の宿舍も含め原則 Wi-Fi が通っており、大学内の生活であれば基本インターネット環境に苦労することはありません。一方で、市街地までの道や市街地は場所によっては非常に回線が弱いところがあり、携帯キャリアに関わらずみんな使えないということもしばしば。

私は Lebara という Visa 申請の際にもらったキャリアをそのまま使っていましたが、回線はよくも悪くもという感想です。回線という面では、Three や Vodafone の評判がよさそうです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

私はクレジットカードと、ソニー銀行のバンクウォレットを使っていました。

このソニー銀行のバンクウォレット、事前に両替しておいた現地通貨から手数料なしで支払いがされるため、決済に対し、事前のわずかな両替手数料しかかからず、また円高なときに変えておくことで費用を節約できます。日本国内からは通常の振り込みと同様にソニー銀行宛に振り込むだけでいいのでおすすめです。

日本の銀行ではありませんが、似たようなサービスとして、Wise や Revolut などもあり、そちらを使っている人もいました。ちなみに 1 学年間滞在中であれば銀行口座も開設できるはずですが、私はしていません。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

薬: 龍角散や葛根湯などのあまり作用が強くないもの。

日用品: 歯磨き粉、綿棒、洗顔、スリッパ、コンタ外など。手に入れることはできるが、自分が使い慣れているものを持って言ったほうがよい。

日本食: 日本食フームのせいとか、割と手に入ります。ただ、ちゃんと自炊したい人は、ポン酢、ソースなどの調味料を持っていくといいと思います。

7) 【授業料負担型の方】 授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

-

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	<b>本学で認定された単位数合計</b> ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
120 単位	<input checked="" type="checkbox"/> (申請中) 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:     )
<b>2) 履修登録の時期・方法及び履修制限</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他(     )	
・履修の制限はありましたか? 交換留学生がとれる授業一覧からであれば自由に選択できます。履修は渡航前にオンラインで行いましたが、渡航後に事務室で履修をしている人もいましたし、専用のフォームを使用して変更することもできます。実際、私も春学期の授業は当初から変更しています。	
<b>3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。</b>	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introductory Econometrics	入門計量経済学
科目設置学部・研究科	School of Economics
履修期間	Autumn
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+統計ソフト(Stata)演習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 2 回
担当教授	Dr. Georgios Papadopoulos
授業内容	計量経済学の基本の考え方や知識のレクチャーと統計ソフト Stata を使用した演習
試験・課題など	小テスト 5 回=30%、期末課題=70%
感想を自由記入	明治大学で計量経済学を履修したことがなかったため、特有の用語や考え方を理解することに苦慮しました。ですが、統計ソフト演習が週に 1 回あったこと、少人数でやりやすかったこともあり、授業としては楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introductory Mathematics for Economists		入門経済学数学	
科目設置学部・研究科	School of Economics		
履修期間	Autumn		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+演習(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に110分が2回		
担当教授	Dr. Bahar Ghezelayagh		
授業内容	経済学で使う数学の授業。ミクロ経済学の内容と交えながら、微分などを中心に行った。		
試験・課題など	中間課題=30%、期末テスト=70%		
感想を自由記入	1年生の必修授業。内容も簡単な計算から始まり微分積分などの経済学に欠かせない数学を行う形だった。明治大学でやった内容+α程度であったため、それほど困難には感じなかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Understanding the Business Environment		ビジネス環境理解	
科目設置学部・研究科	Norwich Business School		
履修期間	Autumn		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50の講義/110分のディスカッション分が2/0.5回		
担当教授	Dr. Andrew Greenman		
授業内容	PESTELという分析手法を使用したビジネスや企業の分析。		
試験・課題など	期末レポート=100%		
感想を自由記入	2500字のレポートが100%という評価であったため、非常に苦労した。その一方で、2週間に1回行われる少人数でのディスカッションは正直言うと盛り上がりせず、気まずい時間が続いたのが記憶に残っています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The European Economy		欧州経済学	
科目設置学部・研究科	School of Economics		
履修期間	Spring		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+ワークショップ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に110分の講義/50分のワークショップ分が1/1回		
担当教授	Dr. Liliana Harding		
授業内容	EUを中心とした経済統合の歴史とメリット・デメリット分析。		
試験・課題など	プレゼンテーション40%、期末テスト=60%		
感想を自由記入	プレゼンテーションと期末テストからなるオツトックスな授業構成。 担当教官が日本との交換留学プログラムを担当している関係で日本の話が出てくることが多く、理解がしやすかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Economics of Environment		環境経済学	
科目設置学部・研究科	School of Economics		
履修期間	Spring		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+ワークショップ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Dr. Gaetano Grill		
授業内容	環境保護と環境に対する費用・効果の分析。		
試験・課題など	グループプレゼンテーション=30%、期末レポート=70%		
感想を自由記入	留学中に唯一履修した3年生(最終学年)向けの授業でした。 それだけ受講生のレベルも高く、特にグループプレゼンテーションの見せ方には大きな学びがあったと感じます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
History of Economic Thought	経済思想史
科目設置学部・研究科	School of Economics
履修期間	Spring
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+ワークショップ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分の講義/50分のワークショップ分が1/0.5回
担当教授	Dr. Fabio Arico
授業内容	ケネーやミルを始めとした経済学の歴史。
試験・課題など	口頭テスト3回=75%、小レポート=25%
感想を自由記入	Zoomで教授と一対一で口頭テストを行うということが最大の特徴であり苦労した点でした。教授も非ネイティブであることもあり拙い英語力には理解を示してくれましたが、言いたいことをうまく伝えられなかったです。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

One Career, リクナビ、マイナビ、CFN(キャリアフォーラム)などの就職サイト

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)  
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

就職活動中です。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)  
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

3年生になってから留学をするのなら、留学中に頑張って就職活動を終わらせるのか、休学するのは早めに考えておくのが吉です。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

-

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

-

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

-



## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	明治大学内での出願、IELTS 受験
留学開始年	1月～3月	留学先決定
	4月～7月	留学先大学出願(4月)、正式受け入れ許可、Visa 申請(7月)
	8月～9月	滞在先決定(8月)、渡航(9月中旬)、秋学期授業開始(9月下旬)
	10月～12月	期末試験(12月～1月)
留学/帰国年	1月～3月	冬期休暇(1月)、春学期授業開始(1月下旬)
	4月～7月	イースター休暇(3月末～4月中旬)、期末テスト(5月下旬)、帰国(6月)
	8月～9月	
	10月～12月	



## 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

### 留学先を選んだ理由

日本と地理的・経済的条件に近いイギリスで経済学を学びたいという思いからイギリスを第一に考えていましたが、イーストアングリア大学、またリッジについては、正直に言えば具体的に志望校を選ぶ段階で初めて知りました。ただ、結果論ですがとてもいい大学・都市であったと思います。都市圏人口で20万人程度、広大な土地に広がるキャンパスは東京都心、また明治大学とは対極にあり、良い経験になったと感じます。同じ環境面で言えば、イギリスだけではなく、世界各国から様々な人が集まっていたのはよかったです。自分のフラットだけでも現地のイギリス人に加えドイツ・ルウェー・スペイン・アメリカ出身の人がいましたし、ヨーロッパ諸国やアジア諸国等、いろんな人と交流することができました。

### 留学生生活全般

留学生生活は10か月強でしたが、本当にあつという間でした。大学生生活に十分慣れたと思ったらもう年末でしたし、春学期の授業が始まったと思ったら帰国のことを考え始めなければならないといった形です。そんな1年間でも短い留学生生活では、上でも書きましたが、時間の使い方がとても重要だと感じます。なぜなら、授業の時間がとても短く、それ以外の課外活動や課題が占める割合が多くなってしまいます。サークルや部活動、そのほか課外活動など、授業のほかにも楽しめることがあると、留学生生活がより良いものにできると思います。

### 留学を志す後輩学生へ

他の人と共通する内容ですが、思い立ったが吉日ということです。交換留学を考える場合、特に準備から実施までに時間がかかります。実際の応募は渡航の約10か月前ですし、英語のスコア等を考えれば1年以上前から準備を始めなければ到底間に合いません。きっと、この報告書を最後まで読んでくださったのなら、留学に対する興味が少なからずあるはずですし、是非ちょっとでもいいので英語の勉強をしてみる、留学先大学について調べてみるなどしてみると、おのずと先は見えてくるはずです。

